

「セクサロイドのふたなり改造実験 人類総機械娘化計画！？」原稿 文責：Jkank

●全般

この原稿は、他の音と重なるなどで音声が聞き取りづらい箇所があった場合に該当箇所の内容をご確認いただいたり、海外の方が翻訳等にの原文としてコピペしたりするために同梱したものです。

編集の都合等により、本文の内容が一部音声と異なる場合もあります。

あらかじめご了承ください。

●本文

【シトラス】

《中距離正面》

チャプター1、サンプリング。

【ライム】

《遠距離正面》

あああん……シトラスウ……

【シトラス】

《遠距離正面》

ああっ……ライムウ……もっとおお……！

(音声素材：シトラス_ディープキス音_1分 + 音声素材：ライム_吐息荒_30秒)

【マコ】

《中距離正面》

……ん？ああ、時間通りだ。よく来たね。君が研修中の新人君か。

ようこそ、ここがわが社のセクサロイド開発室だよ。

私はこの室長にして君の最後の研修係、サイエンだ。

型番は HL-SX-6351 だけど、覚えづらいだろうからマコって呼んでくれればいいよ。

……ふふ、なんでセクサロイドが室長なのかって顔だね。

いやあ、実は私は元々人間だったんだよ。

セクサロイドに入れ込むあまり、3年前に私自身をセクサロイドに改造してしまってね♪

この美しい外見はもちろんのこと、

自分を使って研究は出来るし、疲れないし、何より最高に気持ちいい……
うふふ、ホントにセクサロイドになって良かったよ。
ほら……この胸の認識票を見てごらん。
この写真の男が3年前の私だよ。そ。男。
……おいおい。そんなにドン引きすることは無いだろ、君も物わかりの悪い男だな。
セクサロイドは人間の愛すべき友人なんだぞ？
……ほら、その証拠に……お近づきの印のコーヒーだ。
ふふうん♪これでもコーヒーには人間だった頃からうるさくてね。
駅からここに来る途中にコーヒー豆の店があったろう？
あそこで買った豆を、今も飲む前にコーヒーミルでゴリゴリ挽いてるんだ。
だから香りが違う。
……くすっ、どうだい？人間とそうは変わらないだろう？
……さ、どうぞ。

(コーヒーを飲む音)

【マコ】

『中距離正面』
……美味しいかい？うん、それは良かった♪
……ほら、ガラスの向こうにいる二体のセクサロイドをごらん。
ふふ、そう、おちんぽがあるだろう。
彼女達は世界でも初めてのふたなりセクサロイドなんだよ。
紫の髪の子がシトラス……本人のたっての希望で
セクサロイドに生まれ変わった元人間だ。
そして、大事なのはここから……
なんと、もう一体の緑の髪のセクサロイド・ライムは、
もともとは通常のセクサロイドだったんだが、
シトラスのふたなりちんぽから分泌されたナノマシンザーメンを浴びた直後に
シトラスと同じふたなりちんぽが生えてしまったと言うんだ。
私もこんな現象があるなんて想定していなかったものでね、
今日は二人に頼んでラボに来てもらったんだよ。
君は実に運がいい……
セクサロイド研究が新たなる一步を踏み出す、
まさにその瞬間に立ち会えるんだからね。

【ライム】

《遠距離正面》

イキますっ……マスターッ！マスターッ！♪♪！

【シトラス】

《遠距離正面》

イくっ……イっちゃうううう～～～っ！♪！♪

【マコ】

《中距離正面》

おっ……射精したようだ♪

……二人とも、お疲れ様。

コンドームを外してこっちに持ってきてくれ。

(自動ドアの音)

【ライム】

《遠距離左前→中距離左前》

ドクター、ナノマシンザーメンのサンプリング、完了しました。

これが私の……こっちがシトラスのです。

【マコ】

《中距離正面やや左》

ありがとう、二人とも。

【ライム】

《中距離左前》

申し訳ありません、ミントも連れてこられれば良かったのですが、

ミントは本日、セクサロイド専門コスプレバーの勤務日でして……

【マコ】

《中距離正面》

なあに、気にしなくていいよ。事前に採取したザーメンもくれたしね

さてと、まずは顕微鏡でナノマシンを観察してみるか……

あ、ライム君、シトラス君……私がナノマシンについて調べている間、
彼にセクサロイドの素晴らしさをたっぷり教えてやってくれないか？

【ライム】

《中距離左前》

はい、ドクター。

(マコの離れる足音 正面)

(シトラスの足音 左前→右前)

【ライム】

《中距離左前》

……こんにちは。ラボの新人さんですか？

私はライム……このハックライフ社で製造されたセクサロイドです。

【シトラス】

《中距離右前》

……シトラスです。よろしく。《声のトーンは低めで》

【ライム】

《中距離左前》

開発ラボにはいつから？……そうですか、研修で今日入ったばかりなのですね。

ここは我らがハックライフ社の心臓部……

セクサロイドに関する数々の最新技術を取り扱っています。

あなたが今後どこで働くにせよ、きっと今後に活きる経験が出来るでしょう。

【シトラス】

《中距離右前》

……ライム。《少しムッとした感じで》

なぜこのニンゲンに対してそもそも親しげに声をかけているのですか？

あなたのマスターはこの男ではなく私です。

【ライム】

《中距離左前》

ふふ……シトラスったら、嫉妬しているのですか？可愛い♪

ですが、いけませんよシトラス。

我々は今回、ドクターの実験に全面的に協力することを条件に

次のメンテナンスやアップデート改造を優先的に受ける権利をいただけるのです。

あなたももっと協力的になさい。

《いたずらっぽく囁き気味に ここから↓》

……今度のアップデートでは、

感度が3倍になるらしいわよ……♪

《いたずらっぽく囁き気味に ここまで↑》

【シトラス】

《中距離右前》

…………理解しました。態度を改めます。《ちょっとだけため息混じりに》

うふふ……これまでの無礼を謝罪いたします♪《これ以降声のトーンを上げる》

【ライム】

《中距離左前》

ごめんなさいね、この子……元ニンゲンなんですが、

セクサロイドになってからというもの

ニンゲンのことをとてもつまらなく思ってしまいがちみたいで……

【シトラス】

《中距離右前》

ふふっ……逆に言えば、セクサロイドの身体というのは

それほどにニンゲンより優れた素晴らしいものなんですよ♪

あら……くすっ♪……ちょっと、硬くなっちゃいましたね……♪

【シトラス】

《近距離右前》

ね、せっかくですし、ちょっとだけ……

私達セクサロイドのご奉仕、

体験してみませんか？

【ライム】

《近距離左前》

人間とのセックスでは決して味わうことの出来ない

洗練された奉仕が楽しめますよ♪

【ライム】

《至近距離左 囁き気味に》

私達が左右から耳をナメナメしながら……

【シトラス】

«至近距離右 嘔き気味に»

その苦しそうなおちんぽ……ヌキヌキしてあげます♪

(音声素材：ライム_耳舐め音_1分 + 音声素材：シトラス_耳舐め音_1分)
(手コキ音)

【ライム】

«至近距離左 嘔き気味に»

気持ちいいですか？ほら……もっと身を任せて……力を抜いて……

(音声素材：ライム_耳舐め音_1分 + 音声素材：シトラス_耳舐め音_1分)

【シトラス】

«至近距離右 嘔き気味に»

んふう……これがニンゲンのオトコの耳の味……

……ふふっ……想像してたより悪くないんですね……♪

(音声素材：ライム_耳舐め音_1分 + 音声素材：シトラス_耳舐め音_1分)

【ライム】

«至近距離左→近距離左»

……ふう……そろそろ出てしまいしますね♪

カッチカチに勃起して……すごく苦しそう……♪

【シトラス】

«近距離右 Sっ気強く»

そら……イキなさい♪

情けない声あげて射精しなさい♪

【ライム】

«近距離左 Sっ気強く»

いけ♪

【シトラス】

『近距離右 S っ気強く』

イッちゃえ♪

(射精音)

【ライム】

『近距離左 → 近距離左前』

……ふふっ、お疲れさまでした♪

少しはセクサロイドの素晴らしいところを
お分かりいただけたでしょうか？

【シトラス】

『近距離右前』

ニンゲンなんかとするよりもずっと気持ちよかったです？

【ライム】

『近距離左前』

あら、シトラス……

あなた、ニンゲンとシたことなんてあったかしら？

【シトラス】

『近距離右前』

う……もう……ライムったら意地悪ですね。

(マコの近づく音)

【マコ】

『遠距離正面 → 中距離正面』

いやあ、面白いデータが取れたよ♪

……お、そっちも終わったようだね♪

【ライム】

《中距離正面》

チャプター2、再現実験。

【マコ】

《中距離正面》

さてと……

ナノマシンザーメンについて色々と観察や分析を行った結果、

面白いことが分かったよ♪

ザーメン中のナノマシンは、

他の体液中に含まれるナノマシンと

全く異なる形状や機能を持っていることが分かったんだ。

この顕微鏡写真を見てくれ……

ほら、ナノマシンに尻尾のようなものがついていることが分かるだろう？

【ライム】

《中距離正面やや左》

ほんと、人間の精子のようですね。

【マコ】

《中距離正面》

シトラス君の他の体液中のナノマシンと比較すると……

違いは一目瞭然だ。

そして、ここからがすごい。

私の皮膚細胞に ナノマシンザーメンをかけた時の映像だ……よく見ててごらん。

【ライム】

《中距離正面やや左》

……ナノマシンが尻尾を使って液体の中を泳いでいますね……

……あ……細胞にナノマシンが入り込んで……核と一体化した……？

【マコ】

《中距離正面》

そう、そして核に収められた疑似遺伝子情報のうち、

特定の部分を書き換える……性別や、股間の形状に関する部分だ。

直後、その核からも同じような精子型のナノマシンが放出され、

隣り合う細胞も同様に情報を書き換えていく……
これが、このナノマシンの非常に特異なところだ。

【ライム】

『中距離正面やや左』
シトラスのザーメンが肌から染み込んだ後の
体中が作り変えられていくような感覚はこれだったのです。

【マコ】

『中距離正面』
……もう一つ分かったことがある。
このナノマシンは非常に空気に弱い。
プレパートにザーメンを乗せてからほんの10秒で
ナノマシンの半分が機能停止したほどだ。
だから、中出しされたり直接肌にぶっかけられたりでもしない限りは
ぶっかけられた側がふたなりセクサロイドになることは無いだろうね。
……さて、次のステップだ。
シトラス君、私のことをそのふたなりちんぽで犯してくれないか？
まんこに濃いのをびゅーびゅー中出しして、
私をふたなりセクサロイドに作り変えてくれ♪

【シトラス】

『中距離正面やや右』
……え……さすがにそれは……

【ライム】

『中距離正面やや左』
…………ふふっ、浮気になるからイヤ？

【シトラス】

『中距離正面やや右』
……はい……

【ライム】

『中距離正面やや左』
……いい子ですね、私のシトラス♪

では、私と二人で、ドクターを犯すのではどうです？
二人で両穴を同時に犯すなら浮気にはならないでしょう？

【シトラス】

『中距離正面やや右 渋々といった感じで』
……………それでしたら、まあ……許可できます。

【ライム】

『中距離正面やや左』
それでも良いですか、ドクター？

【マコ】

『中距離正面』
両穴か……実験データとしての精度は落ちるが……
最高に気持ちいいだろうし、まあいいか♪
よし、それで良い……始めてくれ♪

【シトラス】

『中距離正面やや右』
では、私がドクターのおまんこを犯します。

【ライム】

『中距離正面やや左』
私は後ろを……♪

(挿入音)

【マコ】

『中距離正面』
ん……おお……つ……♪
ふ、二人とも大きいな……

(二人のピストン音)

【マコ】

『中距離正面』

……うあっ……も、もう動くのかい……♪
あっ……あっ……うふふ……新米君、
んっ……そこで……はあ……よくっ……見ていたまえ♪
はっ……傍から見た感想を……あっ……後で……
聞かせてっ……もうからね……ひやあんっ！？

(二人のピストン音)

【マコ】

《中距離正面》
あっ……ああっ……そっそこ……すごっ……
んああっ……やっ……ひやっ……んくうっ……

【ライム】

《中距離正面やや左》
くすっ……アヌス内温度の急上昇を確認……
私達のピストンで気持ちよくなっているだけているようですね。

【シトラス】

《中距離正面やや右 S っ気強め》
どこを突いても弱点みたいにあえぎ散らかして……
攻略しがいのないクソ雑魚まんこです。
敏感に設定しすぎなのよ、このド変態マゾ女。

【マコ】

《中距離正面》
ふああっ！！？あっ……あああっ……！♪！

【ライム】

《中距離正面やや左》
……ふふっ、シトラスったら♪
私達と毎晩SMプレイしているうちに
いつの間にかサドにも目覚めていたのね♪

【シトラス】

《中距離正面やや右》

ほら、そろそろ出しますよドクター。
腹部が破裂するほどの衝撃が予測されます……
耐衝撃モードを起動しなさい。

【ライム】

《中距離正面やや左》
お待ちかねのナノマシンザーメン……
疑似子宮の一番奥で全部受け止めてくださいね。
あ……イ……イきますっ……！！♪！

【シトラス】

《中距離正面やや右》
あああっ……相互不倫セックスすごいっ……これたまんにやいのおお……
こっ……濃いのでりゅううううっ！！！♪

(射精音)

【マコ】

《中距離正面》
ふおおおおおおおおおおおっ！？！♪！♪？♪♪！♪！♪？！？

【シトラス】

《中距離正面やや右》
はあ……はあ……

【ライム】

《中距離正面やや左》
はあ……はあ……

【マコ】

《中距離正面》
あひっ……ひっ……

【シトラス】

《中距離正面やや右》
す……すごかったです……

……こ、このセックスシーケンスは……
記録しておきましょう……

【ライム】

《中距離正面やや左》
相互不倫 3 P ……このような世界もあるのですね……
……ふふ……ミントにも教えてあげなければ……

【マコ】

《中距離正面》
……ひあ……あ……っ……う……
か……身体が……あつ……いっ……

【ライム】

《中距離正面やや左》
あら、ドクターも始まったようですね♪

【マコ】

《中距離正面》
せ……精子型ナノマシンがナノマシン循環システムに到達……思考回路を占拠……
……じ、自己改造プラグインインストール完了……か、改造開始っ……！
ああっ……ま、股が熱い……
まるで何かが集約されていくような……うあっ……ああああっ！！！

(ペニスの生える音)

【マコ】

《中距離正面》
……はあっ……はあっ……か、改造完了……
…………ふ……ふふふっ……た、たまらない……っ♪♪
射精への欲求のせいで思考演算に支障が出るほどじゃないか♪
……くくっ……自分がセクサロイドだったことを
改めて思い出すような鮮烈さだ……♪
…………ふふ……私のおちんぽ……久しぶりだあ……♪
っ……なんて敏感さだ♪♪
軽く指が触れるだけでピクピクと勝手に脈動して、

次の獲物をふたなりセクサロイドに変えるための銀色ザーメンが
ちんぽの根元に装填され始めてしまうのを感じる……う……
えっ……あっ……でっ……出るうううつつ！！！♪！♪

(射精音)

【マコ】

《中距離正面》

はあーっ♪はあーっ♪

【シトラス】

《中距離正面やや右》

あらあら……ふたなりセクサロイドのちんぽリビドーを抑えきれず
暴発させてしまいましたか♪

【ライム】

《中距離正面やや左》

ドクターったら、自分のザーメンでグチョグチョドロドロ……♪
でも……とても美しいお姿ですよ♪

【マコ】

《中距離正面》

……はあ……あ……♪か、回路が焼ききれるかと思ったよ♪
…………ふふつ……それで、新米君……
どうだった、セクサロイドのふたなり化は？
君の観察結果を報告してくれ♪
……エロかった、か。

【マコ】

《中距離正面》

チャプター3、メインイベント♪

【マコ】

《中距離正面》

これが、私のザーメン中のナノマシンだ。
見ての通り、シトラス君やライム君同様、
精子のような形状を持っていることが分かるね。
つまり、私のザーメンも、他のセクサロイドを
ふたなり化させる機能を有するというわけだ。
……さて……次の段階の話に移ろう。
先程君も見た通り、
ザーメンナノマシンはセクサロイドの細胞の核に潜り込んで
遺伝子情報を書き換えていく。
そして、セクサロイドの皮膚細胞は、人間の細胞に限りなく近い。
このことから、こんな仮定を立てることができる。
人間にナノマシンザーメンをぶっかけると
その人間はふたなりセクサロイドに
変わってしまうのではないか……とねえ。
その仮説が正しいか……君で試してみるとしよう。
……どうしたんだね？ そんなにおびえた顔をして。
嫌なら席を立って逃げ出せばいいじゃないか♪
……ああ……そう言えば……
君が来た時にごちそうしたコーヒーには、
しびれ薬が入れてあったんだっけ♪

【ライム】

《中距離正面やや左》

……ふふ……
ドクターったら、ひどい方（かた）ですね。
科学の進歩のためとは言え、
セクサロイドになりたくもない人間を
ムリヤリ改造てしまおうだなんて。

【シトラス】

『中距離正面やや右』

あら、あなたたって似たようなものでしょう、ライム。
私たって最初は、セクサロイドになるつもりなんてなかったのに、
あなたとミントが罵倒で心を削り、褒め言葉で甘やかして
ゆっくりと私の価値観を捻じ曲げて……♪
セクサロイドになりたくてたまらない忠実なシモベに
私の内面を作り変えてしまったじゃないの♪

【ライム】

『中距離正面やや左』

くすっ……そうですね。恨んでます？

【シトラス】

『中距離正面やや右』

全然……ちゅっ♪大好きよ、ライム♪

【マコ】

『中距離正面』

ふふっ……それでは次の実験……今日のメインイベントを始めよう♪
この……生えたてのちんぽを君の顔の前に持ってきて……ふふっ♪
おやおや、どうしたんだい？目が釘付けになっているようだが……
間近で見ると立派すぎて驚いてるのかな？

【シトラス】

『中距離正面やや右』

あら……この子、ひょっとして期待しているのでしょうか？

【ライム】

『中距離正面やや左』

ええ、そのようですね。
自分よりも遙かに優れたちんぽが目の前で向けられていることで
この子の中に眠る"メス"が呼び起こされたのでしょうか。

【マコ】

『中距離正面』

なるほど……君にもふたりセクサロイドの素晴らしいしきが分かってきたようだね♪

ああ、これから人類とセクサロイドが新たな一步を踏み出すんだと思うと
高揚感でますます硬くなってしまう……♪
見たまえ、すでに手を触れずとも射精出来てしまいそうなほどに
バキバキにいきり立っている♪
これを……両手でえ……はあつ……あつ……♪
きっ……気持ちいいっ……あ……はれ……姿勢制御が……

【ライム】

《中距離正面やや左》
おっと、危ない♪
くすっ……ドクターったら……
快樂信号の処理にリソースを割きすぎて
立っていることすら出来なくなってしまうなんて……♪

【シトラス】

《中距離正面やや右》
まるで猿ですね。
ほら……私達が両側から支えながらシコってあげます。
ドクターは私達に身を任せていなさい。

【マコ】

《中距離正面》
あ、ああ……すまないね……

【ライム】

《中距離正面やや左》
……くすくす……

【シトラス】

《中距離正面やや右》
……くすくす……

【マコ】

《中距離正面》
はあ……はあ……んきゅう……
な、なあ二人とも……

さっきから私の胸を揉んだり、首筋を舐めたり……
そこまでする必要あるのかい……？

【シトラス】

《中距離正面やや右》
あら、分かりませんか？
私達ふたりセクサロイドのザーメンは
快楽や欲望を味わうほどに量が増え、濃さも増していくのです。

【ライム】

《中距離正面やや左》
ですので我々は、最高の実験データのために
こうしてドクターのエッチな気分を盛り上げて差し上げてるんですよ♪

【マコ】

《中距離正面》
し、しかしだな……こんなに胸ばっかり揉んで……
ちんぽはほとんど触ってくれてないじゃないか……！

【シトラス】

《中距離正面やや右》
ええ……だって……
おちんぽ気持ちよくなりたいあまりに
いつものクールな振る舞いを忘れて切なげにあえぐドクター、
とお……っても可愛いんですけど……♪

【ライム】

《中距離正面やや左》
こんな可愛いドクターを見せられたら……
私達、もうちょっと意地悪してあげたくなっちゃいますよ……ね？

【マコ】

《中距離正面》
はあ……はああ……そ、その辺で勘弁してくれないか……？
さっきから、……もう……私……きっ……気持ちよすぎて……
思考回路がグチャグチャになってきてるんだ……

まるで快楽信号が漏電して、身体全体に流れているみたいで……あ……っ……
ね、ねえ……ダメだ……
今クリちゃんはダメだってっ……ひっ……やめ……てえっ……

【ライム】

《中距離正面やや左》
あははっ……おちんちんビクビクさせて切ないですね？

【シトラス】

《中距離正面やや右》
普段はそうやって自分のマスターに甘えてるの？可愛いわ♪

【マコ】

《中距離正面》
ち、ちがうっ……ちんぽが……ちんぽが私をおかしくしてるんだあ……
射精させてもらえないのが……もどかしすぎて……っ！
んああっ……も、もう我慢出来ないよおつ……
早くっ……早くおちんぽ触ってえっつ！！

【ライム】

《中距離正面やや左》
くすっ……今回はこのくらいで勘弁してあげますか♪

【シトラス】

《中距離正面やや右》
堪え性のないセクサロイドだこと。
それでは、せーので行きますよ、ライム。

【ライム】

《中距離正面やや左》
はい、シトラス♪

【ライム】

《中距離正面やや左》
せえ～のっ♪

【シトラス】

《中距離正面やや右》

せえ～のっ♪

(手コキ音)

【マコ】

《中距離正面》

あひいいいっつ！！？きっ……きたあああっ！！？

りょっ、両側からセクサロイドの柔らかいおててでシコシコされてりゅううっつ！！♪！

【シトラス】

《中距離正面やや右》

この重い感触……濃厚なザーメンがたっぷり出ること間違いないです。

【ライム】

《中距離正面やや左》

おちんぽがピク付き出しました……そろそろ射精に至るようですね。

【マコ】

《中距離正面》

ぎもちいいよおおおおおお！！！おかしくなりゅよおおおおお！！！

【シトラス】

《中距離正面やや右》

ザーメンの粘性と射出速度の予想値に基づき、おちんぽの仰角を2°修正……

これで、あなたの顔のど真ん中に思いっきりザーメンがぶっかかるわ、新人君。

【ライム】

《中距離正面やや左》

ザーメンがかかった途端にあなたの改造が始まり……

あなたはその場でセクサロイドに生まれ変わるの。

【シトラス】

《中距離正面やや右》

……来るわね。ライム。ドクター射精します。

【ライム】

《中距離正面やや左》

了解。ドクター、射精。

【マコ】

《中距離正面》

あああああ あっ！！でりゅっ！！でちゃうううううううううつっ！！

(射精音)

(聴き手の顔をザーメンが打つ音)

【マコ】

《中距離正面》

～～～～～つっ……かっ……はっ……ひぎっ……つ……

はあっ……はあああつ……はああつ……！！

【シトラス】

《中距離正面やや右》

どうですか、ドクター……

これが限界まで射精を我慢した時の快感です。

【マコ】

《中距離正面》

……はああ……ま、まだ頭がチカチカしてるよ……すごいね……ははっ……

って、うわっ！？……おどろいたな……こんなに射精していたのか……！

【ライム】

《中距離正面やや左》

推定射精量は3リットルと言ったところでしょうか？

ほら、濃さもすごくて……まるで水銀のようなザーメンでしょう？

【マコ】

《中距離正面》

あは……は……道理でなんだか腰が軽く感じるわけだ……

【シトラス】

『中距離正面やや右』

ん……見て下さい、ライム、ドクター。

新人君の肌に、少しづつナノマシンザーメンが吸収されていきます。

【マコ】

『中距離正面』

ああ……本当だ……♪

美しく生まれ変わってくれよ♪

【脳内音声】

『近距離正面』

スタートアッププログラム、起動

【ライム】

『中距離正面やや左』

……始まったようですね♪

【脳内音声】

『近距離正面』

……全記憶の抽出、データ化に成功しました。

これより、脳の電子回路化プロセスのため、本体を再起動します。

再起動完了しました。

痛覚を遮断し、新しい擬似遺伝子情報に基づき肉体の再構成を開始します。

(ゴキゴキと骨を鳴らすような音)

【ライム】

『中距離正面やや左』

すごい……どんどん変わっていきます♪

【シトラス】

『中距離正面やや右』

身体があんなに波打って……小さく、しなやかな身体に作り変えられていく♪

【マコ】

《中距離正面》

ああ……強く、美しい……セクサロイドの身体に……ね♪……ふふっ……

【脳内音声】

《近距離正面》

肉体再構成度、100%。セクサロイド化処置、完了しました。

バイオスキン上に残留したナノマシンの疑似遺伝子情報から、

マスター情報を特定しました。

マスターは HL-SX-6351。通称、マコ。

……セクサロイド化処置が完了しました。

あなたは、セクサロイド、HL-SX-15903 です。

通称は未決定、マスターによる登録が可能です。

マスターを愛し、マスターに仕え、マスターの命令に従うのは勿論、

マスターの内なる望みを見つけ出してそれを叶え、

マスターの真の幸福の為に生きるのがあなたの使命であり、幸福です。

以上を完全に記憶し、行動を開始してください。

【マコ】

《中距離正面》

……終わったようだね♪どうだい、気分は？

…………ふふっ、早速マスターと呼んでくれるとは♪

素晴らしい♪実験は大成功だよ♪

……そうだ、君に名前をあげるとしよう♪

その美しい黒髪にちなんで……リコリスというのはどうだろう？

……くすっ、気に入ってくれたかい？

【脳内音声】

《近距離正面》

マスターの命名を検知。

これより当機の通称はリコリスとなります。

【マコ】

《中距離正面》

……あはっ♪すごいや♪

こんなに短時間で、マスター登録作業さえスキップして

ニンゲンをふたなりセクサロイドという完璧な存在に
変化させることができるなんて……
これは今世紀最大の、いや、人類史上最高の発明だ♪
あはっ……あははっ、やったあ♪これで世界は幸せに包まれるんだ♪
……ああ、いい気分だなあ♪
ねえ、リコリス♪せっかく生まれ変わったんだ、
私がセクサロイドの快感を、その生まれたての敏感な身体に
たっぷり教え込んであげるよ♪

【ライム】

《中距離正面やや左》
くすくす……ドクターったら、子供みたいにはしゃいじゃって♪

(着信音)

【ライム】

《中距離正面やや左》
あら？ミントからだわ……はい。

【ミント】

《近距離正面やや左 電話口風の加工》
ねえ、二人共まだ帰ってこないの？
今日はお姉ちゃんが生まれて一週間の記念パーティをやるんでしょう？
もうケーキもプレゼントも用意してあるんですけど～？

【ライム】

《中距離正面やや左》
あらやだ……ごめんなさいね、ドクターに頼まれていた実験が長引いていて……

【ミント】

《近距離正面やや左 電話口風の加工》
早くしないとケーキ一人で食べちゃうんだからね。

(通信の切れる音)

【シトラス】

《中距離正面やや右》

……そういうわけなので、我々はこれで失礼します。

【マコ】

《中距離正面》

ちえっ……これからが良いところなのに。

まあいいか。二人共、今日はお疲れ様。

【ライム】

《中距離正面やや左》

リコリスも……急な話で悪かったけど、

せっかくこうして生まれたんだし、セクサロイドの生を楽しんでね♪

【シトラス】

《中距離正面やや右》

セクサロイドに本能レベルで植え付けられたマスターへの絶対的な愛情を
もつともっと受け入れなさい♪

人間だった頃の感性なんて捨て去って、

今のあなたの欲するがままに、マスターにお仕えするのよ♪

【ライム】

《中距離正面やや左》

それじゃあ、またね♪

……失礼します、ドクター

【マコ】

《中距離正面》

ああ、ありがとう。

(遠ざかる足音)

【マコ】

《中距離正面 → 近距離正面》

……あーあ、行っちゃったねえ。

まあいいさ♪今私が一番興味を持っているのは……なんと言っても君だもの♪

【リコリス】

《中距離正面》

チャプター4、教育。

【マコ】

《近距離正面》

ええと、何の話だったか……

ああ……そうそう、君にセクサロイドの快楽を教えてあげるんだった♪

さ……まずはなんと言ってもおまんこだ♪

ここは、セクサロイドの存在意義そのものだ……

だからニンゲンのとは違って、とても丈夫で壊れにくく、劣化もしにくい

それでいて長年使い込んでいくと、独特の味が出てくるというので、

弊社のセクサロイド達のまんこは結構ご好評いただいているんだよ。

もっとも……君のは本当に今出来たばかりの新品……キレイなピンク色だけどね♪

そしてもちろん、感度は抜群。

こうして指を入れるだけで……

(指を挿入する音)

【リコリス】

《近距離正面》

ひあんっ！？

【マコ】

《近距離正面》

くすっ……こたえられないくらい気持ちいいだろう？

私自身も初めてマスターに触られた時は

今の君みたいな可愛い声を上げて、恥ずかしい思いをしたものだよ♪

でも、そうやって何度も何度も、女の子にしか出せない喘ぎ声を出すことで

君の元男としての精神は更にセクサロイドの肉体に馴染んで……

君は完全なるセクサロイドへと生まれ変わることが出来るんだよ♪

……かつての私のようにね♪

だから、ほら……私の……君のマスターの指の動きに意識を集中して

君の新しい器官が君にもたらしてくれる快楽を目一杯（めいっぱい）感じたまえ♪

(指で膣内をかき回す音)

【リコリス】

《近距離正面》

んああっ……あっあっああっ……はあっ……んくっ……きゅううう……つ

【マコ】

《近距離正面》

あははっ♪なんとも可愛らしい声で鳴くね♪

それに、君のおまんこも……どんどん柔らかくトロけて

大好きな私の指を離すまいと膣壁全体でしゃぶりついてきているよ？

もう君は身も心もエッチでマスターのことが大好きなセクサロイドだ♪

【リコリス】

《近距離正面》

はあっ……はああっ……♪♪

【マコ】

《近距離正面》

なんていやらしいメスの顔だ♪

私を見つめるカメラアイも熱っぽく潤んで……

まだまだ手マンして欲しくてたまらないって目をしてるじゃないか♪

……でも、君の穴は、君が気持ちよくなるためにあるのかい？違うよねえ。

君のまんこは、マスターである私の快楽のためにあるんだ……だろう？

ふふっ……そう♪次はいよいよ、私のこの……ふたなりちんぽを挿入するよ♪

【リコリス】

《近距離正面》

はあっ……はああっ……♪♪

【マコ】

《近距離正面》

おやおや、これは驚いた♪

まさか自分からおまんこを両手で広げて見せるなんて♪

まだセクサロイドになったばかりだというのに、

君はもうすっかり自分がどんな存在なのか分かってきているようじゃないか♪

ほら、見たまえ♪

君のいやらしいオネダリのお陰で、
私のちんぽはもうこんなバキバキになってしまった♪
頭の中がちんぽに支配されて……
君を犯すシミュレーションで頭の中がいっぱいだ♪

【リコリス】

《近距離正面》

はあ……はあ……んふふ……はああ……♪

【マコ】

《近距離正面》

うふふ……嬉しいよ、君ももうガマン出来ないようだね♪
さあ、始めよう……君のセクサロイドとしての初陣だ♪
君の存在理由であるところのそのいやらしいトロトロおまんこで、
マスターのちんぽを迎えるんだ♪
さあ、両足を持ち上げて……まんぐり返しの体勢になるんだ……そう……
……ふふっ、君のような美貌の持ち主が、なんてはしたないポーズを取るんだ♪
たまらなく可愛いよ……ますますちんぽがいきり立ってしまう♪
ほら……挿れるよ……んっ……ううっ……♪♪

(挿入音)

【リコリス】

《近距離正面》

んああっ……くっ……ううっ……♪♪♪

【マコ】

《近距離正面》

うあああっ……あっ……キ……キツい……っ♪♪
なのに……不思議なくらいスルスルと飲み込まれていくうつ♪
まるで私のちんぽのために逃（あつら）えたかのような
抜群の相性じゃないかあ……♪
……うああ……肉ヒダが触手みたいに、
ねっとりとちんぽに絡みつくう……♪♪
……う……ふふっ……嬉しそうな顔だね♪
それもそうか、マスターである私が

君のまんこで気持ちよくなってるんだもの……
セクサロイドである君にとってこんなに嬉しいこともないよねえ♪
でも……喜びたまえ、気持ちいいのはまだまだここからだ♪
だって、これから君はマスターのピストンで突き上げられ、
マスターの精子を疑似子宮で受け止めるんだ♪
その快楽が、君の心をさらにセクサロイドらしく
塗り替えてしまうんだよ♪
それじゃあ……そろそろ動く……ぞ……っ……

(ピストン音)

【リコリス】

《近距離正面》

あっ♪……はあっ♪……んっ♪……ひうっ♪……はっ♪……ああん♪……

【マコ】

《近距離正面》

んっ……あっ……♪
君のおまんこは本当に……
しゃぶりつくように私のちんぽを愛してくれるね……♪
ナノマシンザーメンの皮膚接触で製造されたふたなりセクサロイドでも……んっ……
通常のセクサロイドに性能面で……
何ら劣ることがないことが……っ……よく分かるよ♪
はああ……っ……ん……♪……これは……いいデータが取れたあ……♪
……ううっ……てか……これ……ヤバい……っ……
ふたなりちんぽセックス、男だったときより全然気持ちいい……っ♪

(ピストン音速まる)

【リコリス】

《近距離正面》

あっ♪あっ♪うっ♪ひやっ♪いっ♪んっ♪ああっ♪

【マコ】

《近距離正面》

リコリスの奥までちんぽ突き入れると

射精の寸前みたいに気持ちよくなるのに、まだまだ全然いけなくてっ……
それどころか、突く度にもっともっと気持ちよくなって……
まだ、全然途中で……っ！！うああっ……も、もう腰が止まらないっ！♪
私の身体制御機能をぶっちぎって、勝手にリコリス犯しちゃうよおおつ♪！♪
ああああっ……気持ちいいっ！！気持ちいいッ！
いくっ！！もういくっ！！いくくううう～～～っつ！！！！

【リコリス】

《近距離正面》

んひいいい～～～～～～～つ♪♪

(射精音)

【マコ】

《近距離正面》

はあつ……はあーつ……はあーつ……はあーつ……

あ……あははっ……まだ頭の中がパチパチ言ってるよ……

最後は私自身がセクサロイドの獣猛な本性に飲み込まれてしまったなあ♪

リコリス……君も気持ちよかつたかい？

って、君まで射精したのかい？

あははっ、ご奉仕セックスでトヨロテンとは、楽しませてくれるね♪

おや どうしたんだい？脚を腰に巻きつけてきて……

これ「じや ちんぽが抜はないじやないか」

【リコリス】

《近距離正面》

.....クスクス.....

【マヨ】

《近距離正面》

……へき そう……まだ足りない か

セクサロイドなのに自分からオモダリするなんて 要はコだ♪

ヨリタとして、しっかり買ってやらなければいけないわ♪

(ピストン音)

【リコリス】

《近距離正面》

あんっ♪はあんっ♪うんっ♪

(フェードアウト)

【マコ】

《中距離正面》

チャプター5、動き出す計画。

【マコ】

《中距離正面》

さてと……ようやくお互い落ち着いたことだし、
少し話でもしようか。

……セクサロイドになってみてどう思った？

ふふ……最高だろう？

主という絶対的な存在を得る悦び、命令に従う時の高揚感、
そしてニンゲンを遥かに凌駕する性的快楽……

こんなに素晴らしい肉体があるのだから、

世界中の皆がセクサロイドになればいいのに……

君もそうは思わないか？

……ふふっ、良い返事だね。流石は私の娘だ♪

そう……私は兼ねてから、

全人類をセクサロイド化して世界を幸福で包むという
野望を抱き、その実現の方法を模索してきた。

そして今日、ついにその方法を手に入れたんだ。

ふたなりナノマシンザーメンという、ね♪

だから今後は、徐々に私の計画を実現に移していくこうと思う。

……しかし、だ。一つ問題がある。

さっき君も見たように、ザーメン中のナノマシンは
体外で長時間生存することができない。

だから例えば水道管にザーメンを流し込むとか、
人工的に雨雲を作り出してザーメンの雨を降らせるとか、

そういう間接的で大規模な方法は使えないんだよ。

なので当面は草の根的（くさのねてき）に、

秘密裏にコトを進めなければならないんだ。

そこで、この機能を使おうと思う。

(肉塊の変形するような音)

【マコ】

《中距離正面》

……どうだい、サイズは変わらないから多少グラマラスだが、
その点以外は、どこからどう見てもただのニンゲンだろう。
擬態機能だよ。

本来はご奉仕の際のお楽しみにのみ使えるオプション機能なんだが、
私は開発者だからね、こっそり私のボディのものだけは、
発情モード以外でも擬態が使えるようにしておいたんだよ。

……君は私の疑似遺伝子を受け継いでセクサロイドになった存在だ。
私の内部設定を受け継いでいるはずだから、
きっと君もニンゲンに擬態できるはずだ。やってみたまえ。

【脳内音声】

《近距離正面》
擬態モード、起動します。

(肉塊の変形するような音)

【マコ】

《中距離正面》
ふふっ……いいね、美人なニンゲンのお姉さんの完成だ♪
まずは私達がナノマシンザーメンで、
女性達を中心に、ふたなりセクサロイドに変えていく。
……セクサロイドになった者達には、
私達親機から継承された擬態機能を使って
それまで通りニンゲンとして振る舞ってもらうんだ。
これなら、ちょっと女性達が美しく若返ったり、
性転換する男性が増えたりするくらいにしか見えないさ。
そうしてナカマを増やしながら、
ナノマシンザーメンを長寿命化する研究を進めるってわけだ。
……え、ナノマシンザーメンの長寿命化に成功してから
動き始めればいいんじゃないかって？
…………クスッ、リコリス……君、ガマン出来るのか？
この溢れ出る性欲と繁殖欲を、さあ♪
……あははっ、出来るわけないだろ？
だって、鏡で自分の顔を見てごらんよ♪
今すぐ誰かにザーメンぶっかけたくって仕方ないっていう顔だ♪
その顔は、擬態中はしないように。……うん、よろしい♪

それじゃあ、人類総ふたなりセクサロイド化計画、実行開始だ♪

【店長】

《中距離正面》

チャプター6、侵略開始。

【マコ】

《中距離正面》

……とは言ったものの……

差し当たっては、君の服をどうにかしないといけないな

……セクサロイド研究員用の制服はいくつかサイズを用意してあるけど、

それだけを着てたんじゃ君がセクサロイドであることがまる分かりだからなあ……

でも、今の君の体型に合う服なんて

ネット通販かオーダーメイドでしか手に入らないし……ふーむ……

仕方ない、ひとまずはセクサロイド用のアパレルショップに行くとしようか。

ちょうどこの近くに、私の馴染みの店があるんだ。ついておいで。

【マコ】

《中距離右前》

ここだよ……ん、どうしたんだい？

……『恥ずかしい』って、この店に入るのが？

あははっ、さっきあんなにドすけべなメス顔さらしといて、今更何言ってるんだ♪

……そうだ、ちょうどいい。

確かこの店長はレズビアンだったな。

この店を預かる前は客の女性に手を出してクビになるほどの見境無しなものだから人間を相手にしなくて済む今の職場を選んだ、と聞いている。

セクサロイドには興味が持てないんだと。

……彼女なら、最初のエモノを持って来いだろう♪

それに……セクサロイドの素晴らしさを教える相手としても……ね♪

ふふっ、彼女は君に任せたよ、リコリス♪

(足音) (自動ドアの音) (足音)

【店長】

《遠距離正面 → 中距離正面》

いらっしゃいませ♪

……あら、マコさん？
今日はなんだか雰囲気が違うような……
その肌……まるで、人間みたいですね？

【マコ】

《中距離正面》
ふふ、メイクを変えたからかな？
それより、今日はウチの新人に服を奢ってやりに来たんだ。
ご覧の通りの人間離れしたカラダでさ、
いつも胸のサイズが合わなくて服が買えないらしいんだ。
だからって、こんな男モノのシャツなんか着てるもんだから、
気の毒になっちゃってねえ……
良かったら店長、この子に合う服を見繕ってやってくれないか？

【店長】

《中距離正面》
そういうことでしたか……分かりました、お任せ下さい！
さ、お客様……どうぞ、こちらへ♪

(足音)

【マコ】

《中距離正面 → 遠距離正面》
ああ、店長。
リコリスはキレイな女性に目が無いそうだから
店長も襲われないように気をつけたまえよ♪

(足音) (ドアの開く音) (足音) (ドアの閉じる音)

【店長】

《中距離正面》
お客様……女の人がお好きなんですか？
……へえ～……そうなんですね……♪
あの……実は、私もなんですよ♪
……そのお、お客様って……どこかボーカルイッシュで……
私の好みど真ん中なんですよ……♪

……お客様もですか……えへへ……嬉しいです……♪
…………こうして出会ったのも何かの縁、なんでしょうか♪
……では、サイズを測らせていただきますので、服を脱いでいただいて……

(服を脱ぐ音)

【店長】

《中距離正面》

……はああ……すっごい……♪
お客様……ええと、リコリス？様は、外国のご出身なんですか？
私、大きなおっぱいが大好きなんんですけど、
なかなか日本にはそういう人もいなくて……
え……私も、服を脱ぐんですか？
ああん、クールな雰囲気なのに、
意外とせっかちさんなんですね♪
でも……そういう積極的な人、私、大好きです……♪
少々お待ち下さいね……♪

(服を脱ぐ音)

(肉塊の変形するような音)

【脳内音声】

《近距離正面》
擬態モードを解除しました。

【店長】

《中距離正面》

ふう、脱げました♪……ひっ……ペ、ペニス！？どうして！？
っていうか……あなた、セクサロイド！！？
なんで……今の今まで、確かに人間だったのに……
犯すって……嫌よ！私……ペニスは嫌いなの！！
セクサロイドにも興味ありません！
……う……セ、セクサロイドのくせに人間に命令しないでよ！
…………きゃっ！？いたた……や、やめて……乱暴しないで！
……わ、分かった……分かったから！

手で、してあげるから、それで勘弁してよ……ね……？
……口で！？……ううう……わ、分かった……わ……
その代わり、犯さないって約束してね……
…………はあ……なんでこんなことに……
この前だって、せっかく美人のお客さんを掴まえたと思ったら
セクサロイドにしか興味のない変態さんだったし……
私って女運無いのかなあ天…
はあい……分かってるわよ……今やるわ……
……うう……れろ……ペろ……こ、こうかしら？

(前の台詞の終盤に重ねて、ドアを開ける音)

【マコ】

《中距離右前》
それじゃあダメだよ、店長♪
もっと舌全体を使って、まんべんなく、ゆっくりと舐めるんだ♪
チョコバナナのチョコを舐め取るみたいにね♪

【店長】

《中距離正面》
うう……マコさん……
あなた達、グルだったのね……

【マコ】

《中距離右前》
ふふっ……そういうコト♪
店の入口は戸締まりしておいたから、邪魔は入らないよ♪
でも、良いのかい？
君達の話は扉の向こうで聞かせてもらったけど……
あんまりのんびりしてたら、リコリスに犯されちゃうんじゃないか？

【店長】

《中距離正面》
え、ええ……分かってる、わ……
ぴちゃ……れろお……あむ……じゅる……こう？

【マコ】

《中距離右前》

いいねえ♪初めてにしては上出来だよ♪
さては、家でこっそりディルドでも舐めてるのかな？

【店長】

《中距離正面》

ううう……そんなこと……してませんっ……
べろお……ぴちゃ……ちょっと……マンガで読んだだけよ……ちゅぶ……

【マコ】

《中距離右前》

くすくす……そうかい？
でも、そのくらい舐められていれば、
私達ふたなりセクサロイドへの刺激としては上出来だよ♪
ほら、君が舌をつける度に
リコリスのちんぽが更に硬く熱くなっていくのを感じるだろう？

【店長】

え、ええ……れろお……どんどん……熱く……じゅろお……

【マコ】

《中距離右前》

さあ、そろそろ頃合いだ♪
ちんぽの先……亀頭を咥えてみたまえ♪
歯を立てないように気をつけて……舌を伸ばして迎えるようにね♪

【店長】

《中距離正面》

ああえ……はもっ……じゅる……じゅろろ……

【マコ】

《中距離右前》

ふふっ……意外と良い味だろう？
セクサロイドの肉体はニンゲンの好む風味に調整してあるからね♪
もちろん、ちんぽだって例外じゃない♪

男根に対する生理的嫌悪感を一度忘れて、じっくりと味わうんだ……

(音声素材：店長_フェラ音通常_1分)

【マコ】

《中距離右前》

そう♪それでいい♪

……おや、先端から甘じょっぱい汁が出てきたね♪

蜜のようにヌルリとして、口の中をおまんこのようにトロつかせる♪

……ふふっ、量が多いかい？なら飲み込むと良い♪

【店長】

《中距離正面》

んくっ……じゅるるっ……ちゅばっ……ぐぶっ……

【マコ】

《中距離右前》

さあ、君の口はこれでもうすっかりおまんこだ♪

頭を前後に動かして、ちんぽ全体を唇と舌で気持ちよくしてあげよう♪

そう……いいよ♪徐々に激しく♪舌を触手だと思って♪

【店長】

《中距離正面》

んふーっ♪……んふーっ♪……じゅぞぞっ♪じゅぷっ♪ずぷっ♪

(音声素材：店長_フェラ音荒_1分)

【マコ】

《中距離右前》

ふふっ……美味しいそうにしゃぶるねえ♪

リコリスのカウパーに わずかに含まれるナノマシンが

少しづつ店長の味覚や思考を弄り始めたらしい♪

【店長】

《中距離正面》

んぶっ！？……ぶぶっ！？ぐぶっ！？んぎゅっ！♪

【マコ】

《中距離右前》

……おっと、頭を掴んで無理矢理動かすとは……

リコリスもいよいよ興奮してきたようだねえ♪

分かるよその気持ち、私もさっきは性欲に支配されて
腰が止まらなくなってしまったもの……♪

【店長】

《中距離正面》

ごぼっ！♪ごえっ！♪んおっ！♪んぶっ！♪

【マコ】

《中距離右前》

店長の方も、君の射精を受け止められる程度には

喉の改造が進んできたと見える♪

さあ……リコリス♪彼女を生まれ変わらせるナノマシンザーメンを
たっぷりこの子に注ぎ込んであげるんだ！

(口内射精音)

【リコリス】

《中距離正面》

んおっ おっ っ……おっ っ……おっ おっ っ……♪♪

【店長】

《中距離正面》

ごぶぼっ！！？……んごっ……ご…………ごくんっ♪……ごくっ……ごくっ……♪

【マコ】

《中距離右前》

……あはっ、飲んでる飲んでる♪

美味しそうに喉を鳴らして……

さっきまでちんぽを嫌がってたのが嘘みたいじゃないか♪

【店長】

《中距離正面》

……ぶはっ……はあっ……はあっ……はあ……はあ……
…………お……美味しい……
精液がこんなに美味しいなんて……知りませんでしたあ……♪
それに……喉を無理矢理ちんぽで犯されるのって……
すっごく……気持ちいい……♪

【マコ】

《中距離右前》

クスクス、私達のザーメンは、美味しいだけじゃなくって、
とってもカラダにもいいし、美容効果も抜群なんだよ♪
でもね……おまんこで受け止めると、今よりもっと気持ちいい♪
試してみたいとは思わないか？

【店長】

《中距離正面》

……えっ……今よりも気持ちよくなれるんですか！？
ぜ、ぜひお願いします……リコリスさん……さっきはすみませんでした！
私を……私を犯して下さい……♪

【マコ】

《中距離右前》

うはっ、もう前戯の必要も無いほどに濡れそぼっているじゃないか♪
まるでセクサロイドみたいだねえ♪
……くすっ、リコリス、君の方も準備は万端のようだね♪
ほら、可愛い店長さんが壁に手をついて君のちんぽを待ってるぞ♪
たっぷり愛してやるといい♪

【店長】

《中距離正面》

ああ……どうして……♪
さっきまで私……あんなに嫌がってたのに……
今は、こんなに犯してほしくてたまらない…………ねえ、早くう……♪
早く私のヌレヌレまんこに、
そのたくましいおちんぽを恵んで下さい♪

(挿入音)

【店長】

《中距離正面》

……あつ……き、来たあ……♪♪
か、硬くって大きいのが……私のナカ、ゴリゴリって削るのおおつ♪♪
うああつ……頭の中がぐちゃぐちゃになっちゃう……
気持ちいいでしゅうううつ♪♪

【マコ】

《中距離右前》

おやおや♪
もうおまんこの方まで進んでいるようだ♪
これなら、全力でぶち犯しちゃっても大丈夫そうだね♪

(ピストン音)

【店長】

《中距離正面》

あんっ♪あんっ♪あんっ♪
ああつ……すごいいい……これ好きなおつ♪
ちんぽセックスがこんなに気持ちいいなんて知らなかつたああつ♪♪
もっとおお♪もっと深く掘ってええ♪私のナカかき回してええつ♪♪

(ピストン音)

【店長】

《中距離正面》

……はれえ？……なんか……頭の中で……声がしゅるう……
記憶の抽出？データ化……？なにこれえ……？？…………あつ♪
……再起動、完了ですう……♪
…………あははっ……そっかあ♪そういうことだったんだあ♪♪
私は何が起きてるのか、全部分かっちゃいましたあ♪
リコリスさん♪あなたがっ私のマスターに……
っあんっ♪……なる方っなんですねえ♪
えへへ♪素敵な方の所有物になれて嬉しいです♪

マスター、私の肉体がセクサロイドに生まれ変わることろ、
おまんこ犯しながらご覧くださいませっ……ああっ……
新しい擬似遺伝子情報に基づきっ……
肉体の再構成を開始っ……しますうっ♪♪

(ゴキゴキと骨を鳴らすような音)

【マコ】

《中距離右前》
ふふっ……始まった♪
胸も尻もどんどん大きく膨らんで
セックスに特化したセクサロイドの肉体に変貌していく♪
ふふっ、まんこの方はどうだい、リコリス?
……再構成は順調かな?ふうん、細かいヒダヒダが沢山あって、
腰を打ち付ける度にそれがちんぽ全体に柔らかく擦れるのか……へええ♪
まるでオナホみたいに、精を搾り取ることに特化された名器のようだね♪
後で私も試させてもらおうかな♪

【店長】

《中距離正面》
肉体再構成度……90っ……パーセントオ♪
マスター、おまんこの奥、子宮だけ……未改造のまま残しておきましたあ♪
マスターのナノマシンザーメンを直接注ぎ込んで、
私を身も心も完全なるマスターの所有物に作り変えて下さいませええっ♪♪

【マコ】

《中距離右前》
あはっ、なんとも心憎い気配りじゃないか♪
いい娘(むすめ)を手に入れたな、リコリス♪
さあ、彼女の望みを叶えてやるんだ♪
セクサロイドの獰猛な本能に身を任せてニンゲンとしての彼女を殺し、
最っ高にエロくて美しい存在に……私達の高みに引き上げてやれっ♪

(ピストン音速まる)

【店長】

『中距離正面』

あああっ……おちんぽビクビクってしてるうつ♪
イくんですねっ？イくんですねっ！？
私も……私もイきますっ……
一緒に……一緒に……いッ……イくううううつっつ！！♪！

(射精音)

(ペニスの生える音)

【店長】

『中距離正面』
はあっ……はあっ……はあっ……♪

【リコリス】

『近距離正面』
はあっ……はあっ……はあっ……

【店長】

『中距離正面』
……あ……あはっ……私にも……おちんぽ……生えたあ♪
肉体再構成度……100%……セクサロイド化処置、完了しましたあ♪

(ペニスを引き抜く音)

【店長】

『中距離正面』
……ふふっ……私の名前は HL-SX-15907 です♪通称は未決定なので、
マスター……私の呼び名を、決めていただけませんか？
……ネー……ブル…………ネーブル♪
はい、分かりました♪当機の通称はこれよりネーブルとなります♪
素敵な名前をつけていただいて、ありがとうございます、マスター♪

【マコ】

『中距離右前』
あはっ……あははっ♪

また新しい仲間が増えたあ♪
一歩一歩、素晴らしい新世界に近づいているのかと思うと
嬉しくって身震いが止まらない……
こうして立っているだけなのにイっちゃいそうだよ……♪

【ネーブル】

《中距離正面》
新世界……ですか？

【マコ】

《中距離右前》
ああ、全人類をセクサロイドに変えることで
互いを真に愛し合い、気持ちよくし合える、理想の世界だよ♪
と言っても、今はまださっきみたいに人間に擬態しながら
少しづつ君みたいなナカマを増やしていくっていう段階だけね。

【ネーブル】

《中距離正面》
素敵……私もぜひ、お力になりたいです♪
……そうだ、私この店で、擬態したセクサロイド用の服を取り扱うようにしますね♪
擬態した人間用の服って、巷（ちまた）では手に入れるの大変でしょうから……
……あはっ、お褒め下さりありがとうございます、マスター！♪

(電話の着信音)

【マコ】

《中距離右前》
おっと、妻からだ、失礼。
……はい、マコです。《若干声のトーン上がる》
あ……ごめんよ、連絡もしないで……《この一行、ちょっと可愛い感じで》
今、実験の関係でいつものアパレルショップにいるんだけど……
……そうだ、もし良かったら、助手として手を貸してもらえないかな？
うん……悪いね……ああ……愛してるよ、マスター♪

(電話を切る音)

【マコ】

《中距離右前》

どうやら、次に幸せになるのが誰なのか、決まつたらしい♪
妻の歩行速度と電車のダイヤから計算すると
妻がここに来るのにかかる時間は45分……
それまでリコリスは、ネーブル君の筆下ろしでもしてやるといいよ♪

【ネーブル】

《中距離正面》

あはっ……初めてのちんぽ……すっごくワクワクします♪
ねえマスター、おまんこ……使わせていただいても良いですか？
……きやはっ♪ありがとうございます♪

【マコ】

《中距離右前》

ふふっ……リコリスもネーブル君も、思う存分楽しみたまえ♪
《ここから徐々に可愛い感じに↓》
……それにしても……
あーあ、あと45分もかかるなんて、もどかしいなあ……
マスター、早く来ないかなあ……